“乗り継ぎ券で、『みどりっこバス』『あいあいバス』『芥見岩っこバス』を乗り継いで少し遠くへどうぞ”

『みどりっこヘルパー』さん募集してます。お問い合わせは下記へ→芥見東公民館内・電話 241-1062迄 楽しくお手伝いしてみましょう。

芥見東 ⇄ 南の

みどりっこバス 通信

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 広報誌第19号平成26年6月1日発行
発行元：広報部（芥見東公民館内）　　電話 FAX　241-1062

-地域で支える公共交通-

岐阜市副市長
佐藤　哲也様

みどりっこバスの運行が開始されてから7年目を迎えます。芥見東・南地区の皆様におかれましては、運行開始当初から毎日続けておられます「ヘルパー」活動やこの「みどりっこバス通信」の発行に加えて、昨年は運行開始 5 周年を記念し、ゆるキャラ「みどりっこちゃん」の誕生など、アイディアに溢れた楽しい取り組みを続けていただいております。

実際にバスに乗りますと、運行ルートやバス停の場所などに地域の方々の声がキメ細かに反映されているのが窺え、また、バスの車内は地域の情報発信や交流の場となっている文字通り「コミュニティバス」でした。このようにみどりっこバスが地域に根付いているのは、これまでの皆様方のご尽力の賜物と改めて敬意を表する次第です。

全国的にも少子高齢化や本格的な人口減少などにより、公共交通を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。このような中、昨年末に制定・施行された交通政策基本法では、国、地方公共団体、交通事業者、国民等の責務と、関係者が連携・協力に努めることが示されています。

岐阜市では、予てから交通政策を重視し、幹線・支線バスとコミュニティバスが連携した公共交通網の形成により「だれもが自由に移動できる交通環境社会」の実現を目指し、コミュニティバスや岐阜市型BRTの導入を推進しており、この法律は本市の交通政策の推進に大きな追い風となるものと考えております。特にご当地の取り組みは、まさに法の理念に即したものであり、全国的にも注目を集め、多くの表彰や評価を受けられております。

これからも皆様の更なる取り組みにより、みどりっこバスが地域の皆様に親しまれ、より多くの方々にご利用いただくとともに、芥見東・南地区の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ブー

-ここで生きていくために-

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会副会長
仲井　善夫様
（芥見南自治会連合会会長）

何十年前だったでしょうか。

「大洞団地はモノレールが走り、高校もでき、住環境の優れた団地になる」、そんな夢を抱いていました。

しばらくすると、美濃町線がなくなり、市営バスがなくなり、藍川高校がなくなり、小学校までなくなりました。モノレールは夢のまた夢でした。

そして今、大洞団地は確実にご高齢の方が増えています。しかし、私たちは住み慣れたここに愛着もあります。

ここで生きていくしかありません。したたかに生きていくためには、人とのかかわりが何より大切です。

コミュニティバスはなくてはならない足でもありますが大切なコミュニティの場でもあります。バスのおかげでひとりで買い物に行けるようになったとか、バスのおかげでしゃべるお友達ができたなど、コミュニティバスは人々の生きがいを乗せて、今日も走ります。

-芥見東・南地区（コミュニティバス）における感想-

静岡市公園整備課
代表　古賀　久雄様

今回、芥見東・南地区のコミュニティバスについてお話しを伺いました。ありがとうございます。説明資料が丁寧に作られており、皆さんの説明が大変上手で驚きました。

感じたことですが、ひとつの「バス」から様々なアイディアが生まれ実施されており、それが住民自主性のボランティアでの取組みであることに驚いております。当市ではここまで取り組んでいる町はないと思います。

このような住民活動が行われることで、自分の住む地域に愛着をもつ人が増え、子育て、高齢者の生きがい、環境保全、治安維持、地域貢献への意識、人口転出減少など様々な効果があり、更には、住民活動が地域の魅力となり地域外からの集客力が増すといった経済効果や観光面での効果があると思います。皆さんの町は、「理想とする町」であり地域の財産になっていると思います。

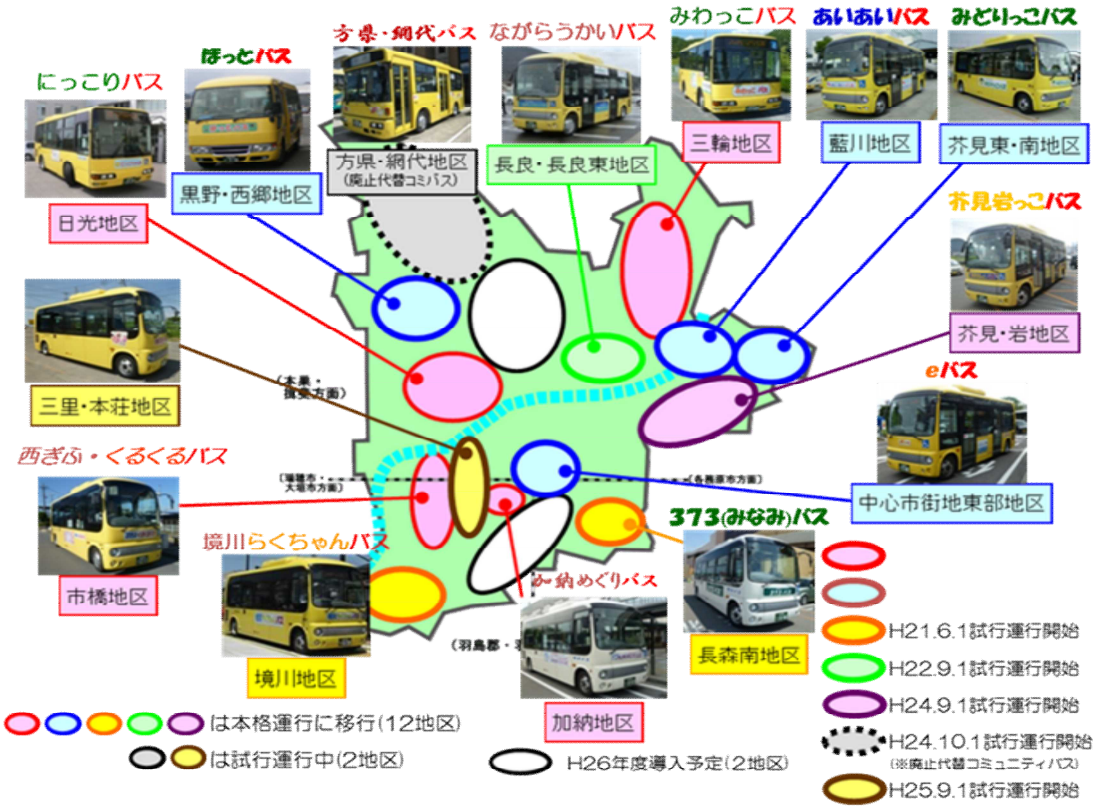
最後に「理想とする町」とは、行政主体でなく、住民が自主性を持ち主体となり事業者を巻き込み、行政はサポート側に回ることが理想なのかなと感じました。なかなか難しい事と思いますが今回の得たことを参考に今後の生活や業務に役立てたいと思います。

－ 岐阜市コミュニティバスの取り組みを紹介します －

岐阜市企画部交通総合政策課
主任主事　岸　佳奈惠

岐阜市では、平成18年10月からどなたでもご利用いただけるコミュニティバス「ぎふっこバス」の導入をすすめております。現在14地区で運行され、今年の2月に運行開始からの利用者数が、累計で200万人を突破するなど、市民の皆様の移動手段としてご利用いただいております。 更に、今年9月からは、新に2地区の皆様がコミュニティバスの運行を予定されており、コミュニティバスで地域を繋ぐ絆づくりはさらに広がっていきます。

みどりっこバスは、地域の皆様方に支えていただき、全国のモデルとなるコミュニティバスになりました。みどりっこバスが今後も地域の皆様に愛されご利用いただけますよう更なるご支援をお願いいたします



― みどりっこ　音頭 ―

作詞　丹羽　堯庸
作曲　山田　ひとみ

1. ハアー　春は桜だ　誓願桜
宇宙帰りの　二世が育つ
老いも若きも　集うよここに
明日の故郷　築くため
みどりっこ　みどりっこ　みどりっこ

2. ハアー　夏は清流　山田川
サギにカワセミ　飛ぶ川は
小中生が　集うよここに
明日の清流　守るため
みどりっこ　みどりっこ　みどりっこ

3. ハアー　秋は紅葉だ　里山だ
硯石に　展望台登る
自然愛して　集うよここに
明日の自然を　守るため
みどりっこ　みどりっこ　みどりっこ

4. ハアー　冬は北風　寒くとも
どっしり見ている　権現山
老いも若きも　集うよここに
住みよい故郷　守るため
みどりっこ　みどりっこ　みどりっこ

－ 5月9日より「みどりっこサブレー」の販売を開始 －

製造・販売・・・SWEET　HOUSE　ESAKI
大洞緑山１丁目

1個袋入	100円
5個各小袋入	500円
10個箱入（各袋入）	1100円

これからも地域の皆さんに便利で安心で快適な「みどりっこバス」をめざして岐阜市・日本タクシー・運営協議会で協議、努力してまいります。